

## 2) 髄液（腰椎穿刺）採取法

採取方法		採取容器	備考
1.	穿刺部位を消毒する	滅菌試験管 嫌気ポーター	採取後速やかに提出する
2.	L3-4,L4-5,(L5-S1)の椎間部より腰椎穿刺針にて穿刺する		髄膜炎菌を疑う場合は採取前に予め検査室に連絡し、採取後保温(30~37℃)のうえ速やかに提出する
3.	穿刺針をくも膜下腔まで挿入して、3~4本の試験管に0.5~2mlずつ採取する *1本目は細胞数・生化学検査に使用し、微生物検査用には2~3本目を用いる		夜間の場合は血液培養ボトルに採取してもよい